

平成 20 年

消費者物価指数の動き

(平成20年大阪市消費者物価指数年報)

大阪府総務部統計課物価・家計グループ

消費者物価指数とは、一般家庭で消費目的のために購入するいろいろな商品の小売価格やサービス料金の調査結果を使って、それぞれ集計し、その月ごとの動きをみるために基準となる時点と比較して指数化したものです。大阪府では、大阪市内の小売物価統計調査の中旬の調査結果をもとに、独自に集計し、「大阪市消費者物価指数速報」として毎月公表しています。このたび平成20年の年平均（確報）をとりまとめました。その概要は以下のとおりです。

1 概要

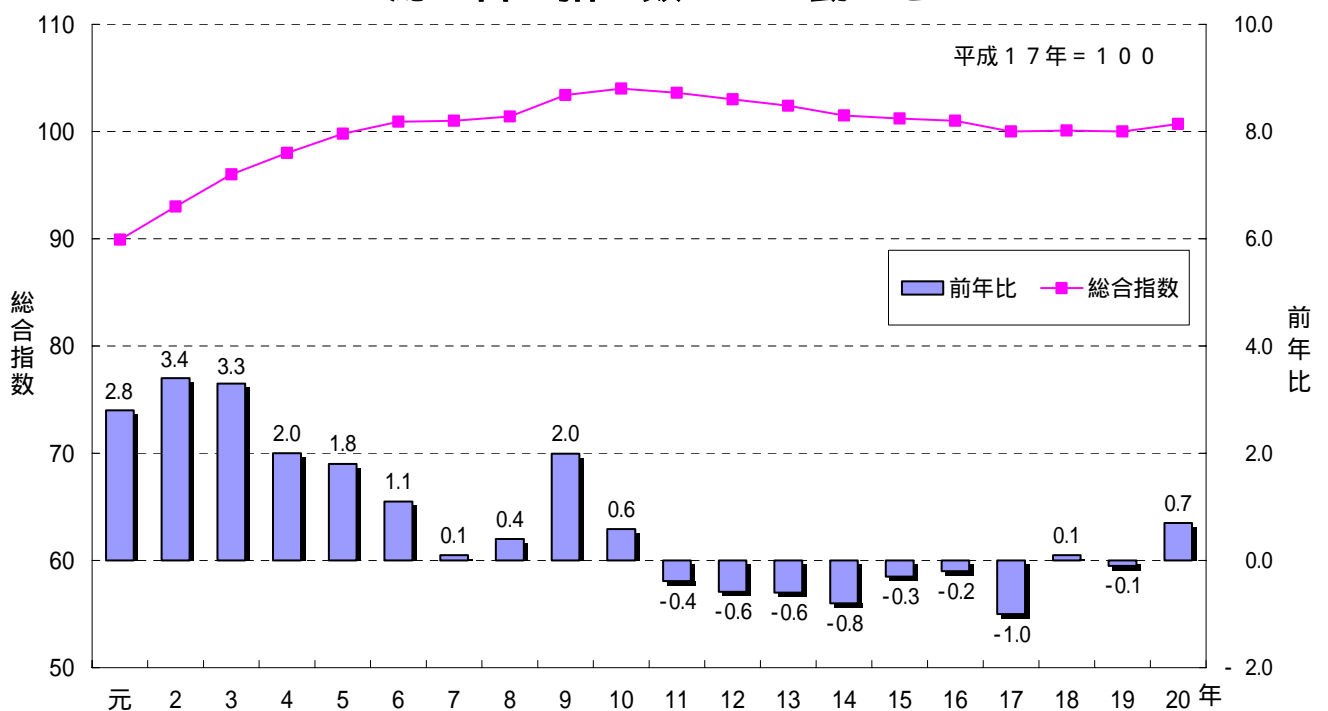
平成20年の大阪市消費者物価指数は、平成17年を100とした総合指数で、100.7（前年比0.7%の上昇）となり、平成18年以来2年ぶりに上昇した。

前年比は、昨年の(-0.1%)から(+0.7%)と0.8ポイント拡大した。

また、生鮮を除く総合指数は、100.7（前年比0.9%の上昇）となり、平成10年以来10年ぶりに上昇した。食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数は98.9（前年比0.2%の下落）となり、平成18年以降3年連続で下落した

費目別にみると「光熱・水道」が他の光熱、ガス代の値上がりにより3.6%の上昇、「食料」が穀類、乳卵類、菓子類などの値上がりにより1.9%上昇、「交通・通信」が自動車等関係費などの値上がりにより1.1%上昇した。一方、「教養娯楽」が教養娯楽用耐久財の値下がりにより0.9%の下落となった。

総合指数の動き



2 10大費目の動き

平成20年の10大費目の動きを前年比で見ると、「光熱・水道」が(+3.6%)、「食料」が(+1.9%)と上昇した。

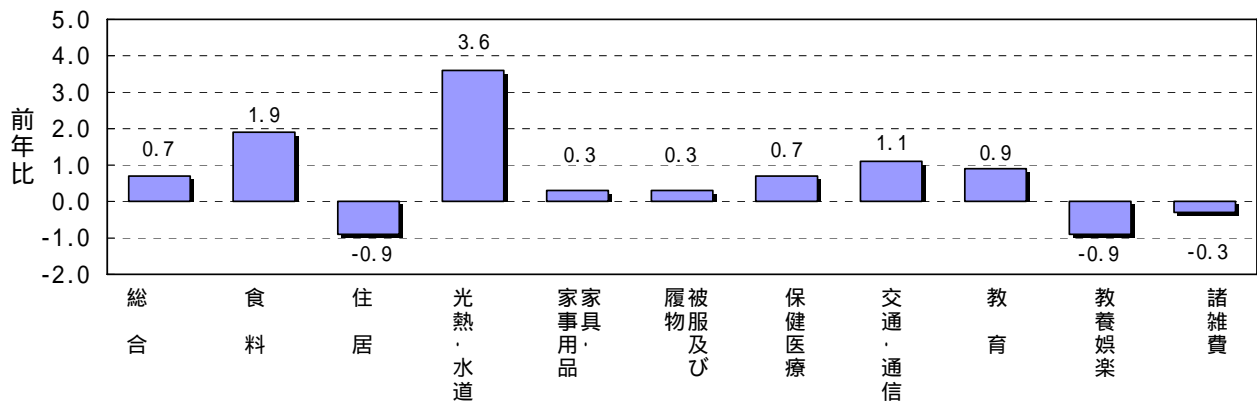
一方、「教養娯楽」が(-0.9%)、「住居」が(-0.9%)の下落となった。

10大費目別指数

平成17年 = 100

費目	平成20年指数	前年比 (%)	平成19年指数	前年比 (%)
総合	100.7	0.7	100.0	-0.1
食料	102.8	1.9	100.9	-0.1
住居	98.6	-0.9	99.5	-0.6
光熱・水道	105.5	3.6	101.8	0.4
家具・家事用品	97.1	0.3	96.8	-0.5
被服及び履物	101.8	0.3	101.5	1.1
保健医療	99.6	0.7	98.9	0.3
交通・通信	100.4	1.1	99.3	0.0
教育	102.2	0.9	101.3	0.9
教養娯楽	95.8	-0.9	96.7	-1.5
諸雑費	102.1	-0.3	102.4	1.2
生鮮食品を除く総合	100.7	0.9	99.8	-0.1
持家の帰属家賃を除く総合	101.0	1.0	100.0	0.0
持家の帰属家賃及び生鮮食品を除く総合	101.0	1.1	99.9	0.2
食料(酒類を除く)及びIETI-を除く総合	98.9	-0.2	99.1	-0.3

10大費目前年比



「食料」が上昇に寄与

寄与度から年平均の動きをみると、【総合】の前年比(0.7%)のうち、「食料」が(0.54)と最も大きく上昇に寄与し、ついで「光熱・水道」が(0.26)となっている。
* 寄与度とは、それぞれの項目の上昇率が総合指数に対して押し上げた大きさである。

上昇に寄与した主な費目

費目	前年比 (%)	寄与度
総合	0.7	0.70
食料	1.9	0.54
光熱・水道	3.6	0.26
交通・通信	1.1	0.12
教育	0.9	0.04

3 中分類の動き

平成 20 年の中分類の主な動きを前年比で見ると、上昇した中分類では、「他の光熱」が(+27.5%)、「ガス代」が(+5.9%)、「穀類」が(+4.9%)、「乳卵類」が(+4.9%)、「菓子類」が(+4.0%)、「油脂・調味料」が(+3.6%)となっている。

一方、下落した中分類では、「教養娯楽用耐久財」が(-17.9%)、「果物」が(-6.6%)、「家庭用耐久財」が(-3.4%)となっている。

なお、平成 20 年の中分類の指数及び前年比は、下表のとおりとなっている。

費目	平成 20 年平均	前年比 (%)
総合	100.7	0.7
食料	102.8	1.9
穀類	102.5	4.9
魚介類	101.7	0.9
肉類	106.3	3.1
乳卵類	104.1	4.9
野菜・海藻	101.2	1.3
果物	101.8	-6.6
油脂・調味料	104.7	3.6
菓子類	106.6	4.0
調理食品	102.3	1.8
飲料	96.3	-1.8
酒類	99.9	2.5
外食	103.4	1.6
住居	98.6	-0.9
家賃	98.4	-1.0
設備修繕・維持	101.0	1.0
光熱・水道	105.5	3.6
電気代	101.4	2.4
ガス代	112.2	5.9
他の光熱	166.2	27.5
上下水道料	100.0	0.0
家具・家事用品	97.1	0.3
家庭用耐久財	89.2	-3.4
室内装備品	99.3	1.2
寝具類	105.9	3.3
家事雑貨	99.0	2.3
家事用消耗品	103.6	3.0
家事サービス	98.0	-0.9
被服及び履物	101.8	0.3
衣料	100.9	-0.6
和服	103.9	0.3
洋服	100.6	-0.7
シャツ・セーター・下着類	102.2	0.9
シャツ・セーター類	103.7	1.6
下着類	99.0	-0.5
履物類	103.4	2.7
他の被服類	103.1	-0.8
礼服関連サービス	102.8	1.3

費目	平成 20 年平均	前年比 (%)
保健医療	99.6	0.7
*1 医薬品	97.7	0.4
保健医療用品・器具	94.7	-0.2
保健医療サービス	101.7	1.0
交通・通信	100.4	1.1
交通	100.2	0.3
自動車等関係費	104.8	2.4
通信	94.9	0.1
教育	102.2	0.9
授業料等	102.2	1.1
教科書・学習参考教材	101.6	0.1
補習教育	102.6	0.5
教養娯楽	95.8	-0.9
教養娯楽用耐久財	58.6	-17.9
教養娯楽用品	96.4	0.1
書籍・他の印刷物	100.9	0.3
教養娯楽サービス	102.0	0.9
諸雑費	102.1	-0.3
理美容サービス	96.3	-1.1
理美容用品	99.3	-0.5
身の回り用品	113.0	0.4
たばこ	109.2	0.1
他の諸雑費	101.2	0.2
生鮮食品	100.9	-1.6
生鮮魚介	100.4	-1.0
生鮮野菜	100.9	0.6
生鮮果物	101.9	-7.1
生鮮食品を除く総合	100.7	0.9
生鮮食品を除く食料	103.2	2.7
*2 帰属を除く総合	101.0	1.0
*3 帰属と生鮮除く	101.0	1.1
エネルギー	109.5	5.6
*4 食料とエネルギー - 除く	98.9	-0.2
教育関係費	102.3	1.1
教養娯楽関係費	96.2	-0.9
情報通信関係費	96.0	-0.1

注) *1 医薬品・健康保持用摂取品

*2 持家の帰属家賃を除く総合

*3 持家の帰属家賃及び生鮮食品を除く総合

*4 食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合